

メプチンエア-10 μ g 吸入 100 回

【この薬は？】

販売名	メプチンエア-10 μ g 吸入 100 回 Meptin air 10 μ g 100 puffs
一般名	プロカテロール塩酸塩水和物 Procaterol Hydrochloride Hydrate
含有量 (1 噴霧中)	10 μ g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する吸入剤です。
- ・この薬は、気管支に作用し、狭くなった気道を広げることにより、呼吸を楽にします。
- ・次の病気の人に処方されます。

**下記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解
気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫**

- ・喘息の方は、喘息発作がおこったときに使用します。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にメプチンエア-10 μ g 吸入 100 回に含まれる成分で過敏症のあった人。
- ・この薬には添加物として無水エタノールが使用されています。アルコールに敏感な方は医師または薬剤師に相談してください。

○次の人は、特に注意が必要です。使用する前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・高血圧の人
- ・心臓に障害のある人
- ・糖尿病の人
- ・低酸素血症の人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、使用する量は、次のとおりです。

	1回の吸入量
成人	2吸入
小児	1吸入

1日の吸入回数は最大4回（原則として成人8吸入、小児4吸入）までとしてください。

- ・喘息の方は、喘息発作がおこったときに使用します。

●この薬を吸入できる回数は？

- ・この薬は1容器で100回吸入できます。

●どのように使用するか？

- ・詳しくは巻末の使用方法を参照してください。
- ・必ず、医師の指示に従い、使用する時は携帯袋および使用説明書の「メプチンエアー10 μ g吸入100回を正しくお使いいただくために」をよく読んで使用してください。
- ・吸入する前によく振ってから使用してください。
- ・お子さんが使用する場合は、保護者の方が使用法を正しく指導し、保護者の監視下で使用してください。
- ・吸入終了後はうがいをするように心がけてください。

●効果が不十分な場合の対応

発作が重篤で、この薬の効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・過度に使用すると、心室性不整脈（めまい、動悸、胸の不快感、気を失う）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合にはただちに使用を中止し、医師に連絡してください。場合により、心停止のおそれがあります。
- ・過量に使用した場合には、頻脈、低カリウム血症（体に力が入らない、体が動かさない、息苦しい、お腹が張る）、高血糖（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）、乳酸アシドーシス（頭痛、眠くなる、

意識の低下) などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・過度の使用により重篤な副作用があらわれることもあるので、患者または保護者が正しい使用方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・指示された使用量および回数を必ず守ってください。小児が使用する場合には、家族も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・過度に使用すると血清カリウム値の低下等により、頻脈、動悸（どうき）等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれたらただちに使用を中止し、医師に連絡してください。また、過度の使用により、心停止のおそれがあります。特に発作発現時は使用が過度になりやすいので、1回の吸入数、1日の吸入回数等に十分注意してください。
- ・指示された使用量および回数どおりに正しく使用してもこの薬の効果が認められない場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・発作が重篤でこの薬の効果が不十分な場合は、できるだけ早く受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
重篤な血清カリウム値の低下 じゅうとくなくけっせいかりうむちのていか	脱力感、喉が渇く、息苦しい、手足のまひ、筋力の低下、意識の低下、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、脱力感
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ、喉が渇く
胸部	動悸、息苦しい

部位	自覚症状
手・足	手足が冷たくなる、手足のまひ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋力の低下

【この薬の形は？】



【この薬に含まれているのは？】

有効成分	プロカテロール塩酸塩水和物 (1噴霧中 10 μ g 含有) 1容器 100噴霧
添加物	無水エタノール、オレイン酸、 1, 1, 1, 2, 3, 3, 3-ヘプタフルオロ プロパン (HFA-227)

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・吸入口は時々取り外し、温水でよく洗い、よく乾燥させてから取りつけ、清潔に保管してください。(吸入器本体は、絶対に水洗いしないでください。)
- ・吸入器が汚れた場合は、乾いたティッシュペーパーなどで拭いてください。
- ・吸入時以外は、吸入口にキャップを付け、携帯袋に入れてください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●廃棄方法は？

- ・使用後、火中に投入しないでください。
- ・地方自治体により定められた廃棄処理法にしたがってください。(この吸入器の中にはボンベ（アルミ缶）がはいっています。吸入器、吸入口およびキャップはプラスチックです。)

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社 大塚製薬株式会社 (<http://www.otsuka.co.jp>)
医薬情報センター
電話番号：0120-922-833
受付時間：月～金 9：00～17：00
(土、日、祝日、休業日を除く)

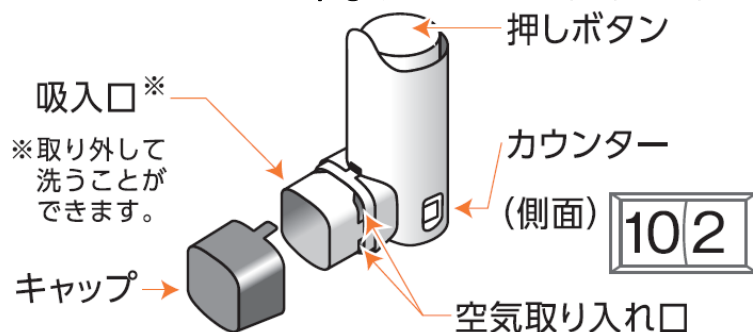
[メプチンエア-10 μ g 吸入 100 回の使用方法]

—注意—

吸入時は押しボタンをしっかりと確実に押し切ってください。

ボタンを押し切らない場合、カウンターが正常に作動しないことがあります。

・メプチンエア-10 μ g 吸入 100 回の各部の名称



・新しい吸入器を初めて使用するとき

このお薬は100回吸入できます。

新しい吸入器を初めて使用するときは、下記のように空噴霧してから使用してください。

102

新しい吸入器の表示は“102”です。



吸入器をよく振ってから、2回空噴霧してください。

100

使用開始時の表示は“100”です。

◆ 9

残り9噴霧目からは窓の左部分が赤くなります。新しいお薬を用意してください。



◆ 0

100噴霧すると、表示は“0”になりこの表示で止まります。

◆

この表示になってもしばらくは噴霧されますが、1噴霧中の成分量が減少しますので**使用しないでください。**

・ 取り扱い上の注意

- ・ 吸入時は、押しボタンが上になるようにして、押しボタンをしっかりと確実に押して噴霧してください。
- ・ カウンターの表示が“0”になってもしばらくは噴霧されますが、1噴霧中の成分量が減少するので使用しないでください。
- ・ キャップおよび吸入口以外の吸入器本体を絶対に分解しないでください。
- ・ 吸入器は落とすとカウンターの数字が変動する場合がありますので取扱いは十分気をつけてください。

・ 正しい吸入のしかた

- ①キャップをはずして、
- ②押しボタンが上になるように容器を正しく持ち、よく振ります。
(悪い例は図1のように押しボタンを下にして持っています。)
- ③吸入口を唇から3~4cm離して口を大きく開けます(図2)。
または、吸入口を歯でかんで、かんだ歯の隙間から空気も同時に吸入できるように口を大きく開けます。この時、お薬を正確に吸入するために空気取り入れ口を唇や指でふさがらないでください(図3)。
- ④息をはいて、息を吸い始めると同時に、押しボタンをしっかりと確実に1回押し、お薬をゆっくり深く吸い込みます。片手で押しにくい時は押しボタンを両手で押ししてください。
- ⑤お薬を吸い込んだ状態で数秒間、息を止めます。
- ⑥息をゆっくりはき出します。
- ⑦2吸入する場合は、1分程度の間をおいて②~⑥の手順を繰り返します。この時、連続して噴霧すると決められた薬液量が噴霧されないことがありますので、押しボタンが戻るまで待ってから吸入してください。
- ⑧吸入終了後はうがいをするように心がけてください。
- ⑨使用後はキャップをつけ、必ず携帯袋に入れてください。

